

第2章 「めざす子どもの姿」を実現するための重点

重点目標⑤ 就学前教育の充実

生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期であることから、「生きる力」「共に生きる力」の基礎となる力を育成します。



1 遊びを通しての「学び」の充実

◆ ねらい

幼児の自発性、好奇心などを重視した遊びや体験を通し、生涯の生活の基礎となる教育を展開し、「生きる力」「共に生きる力」の基礎を育成します。

取組指標	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成27年度)
遊びを通して「学び」の充実に係る 公開保育の実施回数	100%の園が 1回以上実施	各園1回以上

◆ 現状と課題



幼児の遊びを充実させるための研修については、全園で積極的に進めています。公開保育を行う中で、教師のかかわりや環境構成について見直し、事後の研修で幼児期にふさわしい環境とは何か、遊びを通しての学びの重要性などの研修を進めています。学びの連続性（幼保・小・中との連携）を大切にした研修も進めています。取り組み指標である公開保育の実施回数は、昨年度より上回り全園で実施することができました。今後も充実した内容の研修を進めていきます。

○ 平成24年度の公立幼稚園教職員のアンケート結果(23園)



○ 教職員のアンケート結果から、ほとんどの教職員が「一人一人に応じた指導」や「身近の人や環境とのかかわりを重視した保育を行った」と答えている結果がみられました。幼児の発達に応じた学びの場となるよう環境構成の工夫に努めた結果も多くみられました。

◆ 今後の方向性

- 一人一人の幼児の特性に応じた指導や幼児にふさわしい環境構成の工夫によって、園での活動が幼児の発達にとって、より一層意味のあるものにしていくことが必要です。全職員が幼児の成長のために共通認識し、具体的な課題をもって教育実践に取り組みます。
- 道徳性や規範意識を高めるためには、家庭と共に進めていく教育が必要になってきます。集団生活のなかでの具体的な場面を通しての指導はもちろんのこと、家庭との連携を深めながら、教育に取り組んでいく必要があります。
- 健康で安全な生活習慣や態度の育成を目指し、戸外遊びや運動遊びの充実など、心身共にたくましく育つよう取組を継続的に進めます。
- 教師の専門性を一層高め、遊びの中で幼児同士がかかわりあう機会を通じて、集団の中でルールを学んだり、個を発揮して幼児が遊びの充実感を味わうことができるよう取り組みます。
- 幼稚園教育をさらに充実させるとともに、保育園や小学校との連携を深めて、円滑な接続が図れるよう、段差のない教育の取組を進めます。



◆ 主な取組状況

- 幼稚園での食育活動の取組について

健康な心と体を育てるためには食育を通じた望ましい食習慣の形成が大切です。このことを踏まえ、幼児の食生活の実情に配慮し、和やかな雰囲気の中でみんなと同じものを食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な食べ物への興味・関心を持ったりすることで、進んで食べようとする気持ちが育つようにしています。



平成20年度から、家庭弁当を基本とした週1回デリバリー方式の給食が導入され、更に平成23年度より週2回実施になりました。幼児の給食は、安全・安心で栄養バランスのとれたもので、家庭の食育支援にもつながっています。教師は、衛生管理・食の教育の研鑽に励み、食育の充実を図っています。

- 幼稚園での特別支援教育の取組について

特別支援教育についての取組では、集団の中で個に応じた指導や支援ができるよう、指導内容や方法を園内全体で組織的に研修し取り組んでいます。教師一人一人の資質向上を目指し、特別支援教育の理解を深められるよう研修を進めています。

また、教育支援課や発達総合支援室・保育園と共に、就学前教育における特別支援教育のあり方について連携をとりながら、充実を図っています。

2 子育て支援の充実

◆ ねらい

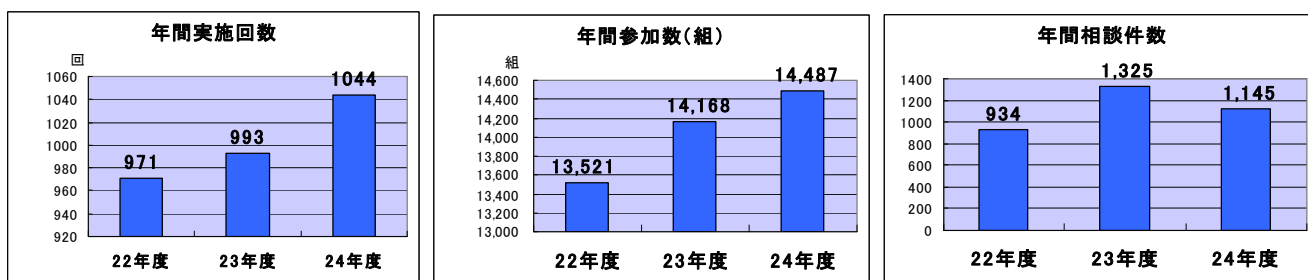
安心して子育てができるよう家庭と地域との連携を深め、幼児の生活を創造する子育て支援の場を設定します。

取組指標	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成27年度)
園ホームページによる教育活動や子育てに関する情報提供の頻度	週1回以上の園 13園 56%	週1回以上

◆ 現状と課題

園での生活や地域との連携のなかでの園児の様子を中心に、各園のホームページで発信しています。情報提供の頻度については、週1回以上実施達成は23園中13園（56%）にとどまっています。家庭・地域との連携をより図っていくためにも、今後とも積極的な情報発信に努めていきたいと考えます。

○ 平成24年度公立幼稚園における子育て支援（遊び会）の状況



- 今年度3歳児対象の遊び会を実施した園が昨年度より2園増え、17園となり3歳児対象向けの活動の広がりがみられました。また、全体の遊び会の実施回数についても、1,044回となり、年間延べ14,487組の親子の参加がありました。毎回楽しめるよう内容をより工夫し、一層充実できるよう行っています。
- 相談回数は増える傾向にあり、保護者が活動指導員や職員に安心して子育ての悩・各園の活動指導員は年間2回の研修会を行い、資質向上に努め、遊び会の充実を図っています。

◆ 今後の方向性

- 保護者が子育ての喜びや楽しさを感じ、安心感と自信をもってわが子と向き合えるために、家庭や地域と連携を深めながら子育て支援活動を継続していく必要があります。そのためにも園づくり活動指導員の配置を継続し、内容の充実にも努めます。
- 各幼稚園では、地域の幼児教育のセンター的な役割が果たせるよう、情報発信に努め、子育てや教育の相談に積極的に応じていきます。そして、保護者同士の交流・子育てについて学ぶ場としての在り方を工夫していきます。

◆ 主な取組状況

重点⑤ 就学前教育の充実

○ 塩浜幼保一体化園について

集団教育を円滑に実施できる園児数（集団）を確保するために、幼児の発達を踏まえた就学前教育の一貫性を図ることが大切であると考えています。

塩浜地区では乳幼児の減少に伴い、幼稚園児と保育園児を同じ就学前の幼児として、幼保一体化園（愛称 塩浜みどり園）での保育を実施しています。開園して7年目となりました。

○ 市民活動団体が行う子育て支援事業について

地域住民が主体となって子育て支援運営委員会を設置し、地域住民の民主的な運営により子育て支援活動を行っています。

現在、下野地区（平成14年度から）と富洲原地区（平成15年度から）で実施されています。

平成24年度公立各幼稚園における子育て支援（遊び会）の状況

	幼稚園名	実施曜日と回数				時間	年間実施回数	年間参加数(組)	年間相談件数	登録者数(組)
		全体		3歳児						
1	四日市	毎週(水)	月4回	毎月第3(火)	月1回	9:30~11:30	50	534	211	90
2	橋北	毎週(水)	月4回	毎月第2・4(火)	月2回	10:00~11:30	50	550	135	44
3	富田	毎週(木)	月4回	毎週(木)	月4回	10:00~11:30	62	874	26	127
4	海蔵	毎週(木)	月4回	毎月(火)	月2回	10:00~11:30	38	490	31	110
5	納屋	毎週(火)	月4回			10:00~11:30	40	270	1	45
6	泊山	毎週(水)	月3回		年2回	9:30~11:00	27	893	6	144
7	内部	毎週(木)	月3,4回	毎月(金)	月2回	10:00~11:30	40	930	0	121
8	川島	毎週(水)	月4回			10:00~11:30	40	942	34	126
9	神前	毎週(水)	月4回	毎週(木)	月4回	10:00~11:30	73	502	51	43
10	三重	毎週(木)	月4回	毎月第2(月)	月1回	10:00~11:30	48	995	44	88
11	保々	毎週(金)	月4回		年2回	10:00~11:30	51	412	30	67
12	下野	毎週(月)	月4回			10:00~11:30	29	497	26	103
13	羽津	毎週(金)	月4回	月末金,第2水	月2回	10:00~11:30	40	1,022	25	116
14	富洲原	毎週(火)	月4回			10:00~11:40	40	530	47	77
15	高花平	毎週(水)	月4回	毎月第2,4(金)	月2回	10:00~11:30	50	157	22	28
16	大矢知	毎週(金)	月4回	12月より	月1回	10:00~11:30	31	293	5	45
17	八郷中央	毎週(木)	月4回	毎月第2・4(火)	月2回	10:00~12:00	64	547	139	80
18	桜	毎週(水)	月4回		年1回	10:00~11:30	37	598	12	87
19	常磐中央	毎週(火)	月3~4回			10:00~11:30	30	958	188	181
20	塩浜	毎週(木)	月4回			9:30~11:30	46	355	0	52
21	笹川中央	毎週(金)	月4回	毎月2回(水)	月2回	10:00~11:30	40	658	1	61
22	三重西	毎週(水)	月4回	毎月2回(月)	月2回	10:00~11:30	44	636	33	54
23	楠北	毎週(水)	月4回	毎月第1(金)	年7回	9:30~11:30	40	538	42	64
24	楠南	毎週(木)	月4回			9:30~11:30	34	306	36	24
平成24年度合計							1,044	14,487	1,145	1,925

3 幼保小の連携の充実

◆ ねらい

学びの一体化の一層の推進のため、幼稚園と保育園、就学前教育と小学校教育の連携及びその充実を図ります。

取組指標	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成27年度)
スタートカリキュラムの活用に関する担当者研修会の実施回数	年2回実施	年2回実施

◆ 現状と課題

幼保小中11（15）年間の子どもの育ちをふまえ、学びのあり方に目を向けた教育実践が展開できるよう、学びの一体化研修における連携の充実が進められています。今後は各中学校区における現状に合わせ、交流内容の充実とともに、幼保小協働で指導したことが小中の学びへ生かされるようにしていくことが重要です。

◆ 主な取組状況

○ 幼保及び小学校との合同研修の充実

小・中学校間で実施される授業公開等に加え、幼稚園や保育園の実践について、教職員交流のみでなく保育の様子を実際に見合い、検討する校区が増えました。平成24年度は全ての校区が学びの一体化において幼保小連携の内容で研修会が行われました。

市内幼保小中学びの一体化担当者全員が集まる担当者研修会においては、先進的な連携をした校区の実践を共有しました。

* 第2回担当者研修会

塩浜中学校区の取組発表（小学校体験、幼小中教員が協働した授業実践報告）

* 第3回担当者研修会・幼保小連携部会から実践事例発表・連携資料の提供

○ 幼保小が連携した教育活動の実践

幼保小の円滑な接続を意識した教育活動として、小学校生活科の取組に園児を招待したり、入学前には小学校体験や給食体験が行われたりしています。幼保小連携部会からは幼保小合同の実践指導案および実践前後の打合せ・検討事項を学びの一体化担当者研修会で提供しました。



重点⑤ 就学前教育の充実

○ スタートカリキュラムの作成・実施

小1プロブレムや中1ギャップと言われている課題がクローズアップされる中、就学前の子どもの育ちをふまえ、小学校生活のスタート時期における学びのあり方に目を向けた教育実践が必要とされています。そこで、スタートカリキュラム（暫定版）を作成し、各校園へ配付しました。

【内容】

* 幼保小の接続期に着目した学びの連続性カリキュラムとして、小学校生活へつながる保育・教育活動と幼保の経験を生かした指導の工夫

- ①一日の生活時程、②保育室・教室環境、友だちとの関係づくり
③幼稚園教育のねらい（五領域）と各教科等内容との関連性

* 幼稚園における教育環境

* 幼保小連携シート（年長児対象）四日市市版「つながりシート」
（就学前の実践と小1の実践を列記できる比較資料）

「つながりシート」は、幼稚園・保育園と小学校の間で行われる情報交換や指導の引継ぎ等で、子どもの学びや成長が校種間で滑らかに連続することをねらっています。平成24年度は「つながりシート」を活用し、次年度への指導に役立てるために具体的な話し合いを行う校区が増えました。

○ 今後の就学前教育のあり方についての検討

学びの一体化推進委員会において、幼保小連携部会からの提案内容について協議しています。本年度配付したスタートカリキュラム（暫定版）の内容をより充実し、小学校生活へ円滑に接続する就学前教育のあり方をさらに検討していきます。

◆ 今後の方向性

就学前教育における学びを生かした具体的な連携について、その意義を校区で共有し、各校区における連携プランが確立されるよう進めていきます。相互に指導のねらい・内容を深く知り合うことを通して、園では小学校以降の生活や学習の基盤を育成し、小学校では新入児が安心して学べる環境づくりや指導につなげていきます。